

## 特別企画

### 学校運動部活動と連携するクラブ



#### DREAM火流 ＜熊本県八代市＞



中学校運動部活動を巡っては、少子化による生徒の減少、それに伴う教員数の減少、専門的指導力を持つ教員の不足等により生徒のニーズに応じた部活動自体が成り立たなくなる現状があります。

このような中、平成30年3月にスポーツ庁において「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が策定され、ガイドラインの中で総合型クラブと中学校運動部活動の連携が期待されています。

そこで、今回は、学校運動部活動と連携するクラブの取組を紹介します。

#### 1 クラブ概要

##### 設立理由

校区の現状として、少子高齢化が進み子どもたちは塾や習い事などで、外で遊ばなくなり、保護者も仕事やパートなどで自分の趣味の時間すら作れなくなっているため。

##### 設立目的

幼児から中高齢者までのすべての人を対象に、スポーツ教室の開催・トップアスリートの育成や、レクリエーションスポーツの普及・振興を通じて、誰もがいつでも気軽にスポーツを楽しむ事ができる環境を築きあげながら、地域コミュニティの再生を目指しています。

##### 具体的な活動

スポーツ活動を通じた、次世代を担う子どもたちの心身の健全なる育成と、海と山に囲まれた温泉街で、歴史と文化多き日奈久校区の活性化を担うクラブとして、イベントや伝統的な行事ごとに積極的に参画し、地域おこしに貢献する活動を展開しています。

##### クラブ理念

スポーツを通して地域住民からアスリートまで、誰でも気軽に参加できるコミュニケーション重視のクラブをつくり、夢を語り合い活力ある地域づくりを目指します。

## 2 クラブ設立準備時から学校・保護者等で検討会議を実施

学校運動部活動の指導者不足などにより、休部する競技が増加傾向にあったので、当時の保護者から放課後の時間帯でのスポーツ活動を要望する声を受けて、クラブの課題でもあった活動拠点場所の確保に向け、小中学校長と設立準備委員長(校区長)がキーパーソンとなり、学校・クラブ・保護者・地域代表で検討会議を数回実施し、学校依存型の運動部活動から地域住民による地域協働型のクラブ活動への移行を目指しました。

## 3 取組内容

当初は、陸上・野球・サッカー・卓球・バドミントンの5種目を計画し、地元の指導者もそれぞれ確保しましたが、結果的に陸上競技(部活動のまま)を除く屋外競技(野球・サッカー)については、運動部活動の受け皿として部活動の時間帯にスクールとして活動することとなりました。

また、室内競技は卓球とバドミントンがあり、小学校側より部活動として現状のままの時間帯で、活動をするとの説明だったので、クラブのスクール活動は指導者の実情もあり、時間外(19:30~21:00)の設定となり希望者が少人数であったので、当面の間は一般のサークル活動と合同で行う様に決定しました。

また、活動場所・時間帯など、時期によって変わる可能性があるので、その都度臨機応変な対応処置を講じ、子どもたちが楽しんで運動できるようにスクール活動を展開しています。

クラブの設立当初は、小学校の児童数が100名前後で、運動部活動は4年生以上からとなっていたので、クラブが低学年からスポーツ活動をさせることに学校側の抵抗がありましたが、小規模校なので、総合型クラブのメリットである「複数の種目を児童が選択できること」が、保護者や地域代表者などに印象強く伝わったようです。

## 4 複数種目を行うことで、スポーツの魅力を体験

保護者側は当初、単一種目毎に学校運動部活動として、クラブと学校の連携の強い要望がありました。2~3年後は総合型クラブの理念を理解してクラブ活動のサポートを積極的にして頂いています。また、学校側は、運動部活動における教職員の負担軽減や、クラブが関わることで地域との新たな連携体制を図ることにつながりました。

そして、クラブ側は、子どもたちに複数種目を体験させることで、個人の運動能力のトータルバランスを考慮した指導方針を確立でき、子どもたちは、スポーツの選択肢が増えてスポーツの魅力を体験できています。

## 5 学校からはクラブと連絡調整に関する支援も

その他にも、学校とクラブは以下の連携があります。

- 夏休み期間のプール監視員の依頼がクラブ側にあり、クラブマネージャーが対応。
- 雨天時などでグラウンドが使用できない時、学校の校内放送で子ども達へのスクール中止の連絡。(急用時の対応もお願いする。)
- 学校行事などで授業時間が変更になった場合や、振替休日などの情報共有。  
※この情報をクラブ側に連絡して頂いているので、それに合わせたタイムスケジュールで活動できる。
- グラウンドが小中学校共同の為、特に中学校の各種大会や練習試合などでグラウンドが使用できない時、中学校の教職員の方から連絡を頂く。

## 6 児童・生徒がより良いスポーツライフを送るために

小中学校一貫指導に関して、小学校とグラウンドを共有している中学校側は、現在活動している野球・サッカー・ソフトテニスの3種目は、現状のまま学校運動部活動として活動を行うので、クラブが提案するスクール活動には参加できないとの事でしたが、幾度となく校長先生や部活担当顧問の先生方と協議を重ねて、今後は技術指導面の情報交換や合同練習会の開催などを行いながら、中学校運動部活動とクラブスクール活動との連携を模索することとなりました。

学校運動部活動と社会体育の連携(融合)に関しては、複数年の移行期間を設けて、狙いを定めて児童・生徒の運動環境を整備し、より良いスポーツライフが送れるように地域全体で取り組むことが大切だと思います。

また、各学校とクラブと地域の信頼関係(人・物・場所・情報の共有など)を、時間がかかっても築き上げることが重要だと感じます。

(熊本県クラブアドバイザー 太田黒 尚子)

## クラブプロフィール

**設立年月日** 平成25年3月24日

**所在地** 熊本県八代市日奈久校区

**運営** 会員数70名(平成30年3月末現在)、予算規模130万円程度(平成30年度)

**有給職員** 0名

**特徴** 夢を語り合えるクラブづくりを目指し、レクリエーション活動や多種多様な事業を通して、会員相互がリスペクトしあう事で地域の活性化に繋げる。また、学校依存型の運動部活動と、地域住民による地域協働型のクラブ活動の良さを融合させて、小中学生年代におけるスポーツの一貫指導や、より豊かなスポーツライフをクラブがサポートし、地域における生涯スポーツの確立を目指している。

**連絡先** TEL 090-8668-9278 FAX 0965-38-1573  
E-Mail [dream196068@yahoo.co.jp](mailto:dream196068@yahoo.co.jp)



サッカーのルールを学ぶ



体育館で、社会人と共に子ども達も卓球を学ぶ



日奈久小中学校グラウンドにて、土曜日に小中学生合同の野球練習会を実施